

局地的短時間降雨時の列車停止位置・旅客避難支援システム

Train Operation and Passenger Evacuation Decision Support System
Based on Flood Forecast

概要

局所的短時間強雨（いわゆるゲリラ豪雨など）が近年増加しています。そのため、線路の浸水が起こりやすくなっています。被害を受ける可能性が高まっています。

そこで、予測雨量から得られるリアルタイム浸水ハザードマップを用いて、線路の浸水箇所に遭遇しないように列車を停止するためのアルゴリズムを開発し、どの列車をどこに停止させたらよいかを示すシステムの開発を行っています。

同時に、旅客の避難が必要な場合には浸水箇所を避けて避難できる場所を示せるようにしています。

特徴

- 浸水までの予測時間を色分けで表示します。
- 浸水箇所に遭遇しないように列車を停止させる位置を表示します。
- 沿線の避難先を表示します。

用途

- 浸水が起こる前に列車運行への影響を把握することで、より安全な列車運行に活用することができます。

（本研究は内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「レジリエントな防災・減災機能の強化」委託研究費を受けて実施しています。）

■開発中の列車停止位置・旅客避難支援システムの画面例

